

授業科目名： 発達心理学Ⅰ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名： 武藤 幸穂
			担当形態： 単独
科目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等			
授業の到達目標： 1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解できる。 2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解ができる。 3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義が理解できる。			
授業の概要：子どもの発達理解の基礎について、発達心理学、教育心理学をベースに進める。子どもはこれまでどのように理解され、また何故発達理解が必要であり、子どもの発達のために何が重要か等について理解する。また、子どもの発達援助に必要な基本や評価等についての基礎知識を身につける。			
授業計画 第1回：発達を捉える視点（1）子どもの発達を理解することの意義 第2回：発達を捉える視点（2）子どもの発達と環境－発達の規定要因と環境の影響 第3回：発達を捉える視点（3）①発達理論－フロイト・エリクソン・ピアジェ・スキヤモンの理論 第4回：発達を捉える視点（4）②発達観・子ども観・保育観 第5回：子どもの発達過程（1）社会情動的発達－自己・感情の発達 第6回：子どもの発達過程（2）身体機能と運動の発達 第7回：子どもの発達過程（3）①感覚・知覚の発達 第8回：子どもの発達過程（4）②認知・知能・記憶の発達 第9回：子どもの発達過程（4）言語の発達－言葉のもつ機能と言葉の発達過程 第10回：子どもの学びと保育（1）乳幼児期の学びに関わる理論①学びの動機づけと学習行動の基礎 第11回：子どもの学びと保育（2）環境と初期経験の重要性 第12回：子どもの学びと保育（3）乳幼児期の学びの過程と特性－ピアジェ・ヴィゴツキー理論 第13回：子どもの学びと保育（4）乳幼児期の学びを支える保育－人との相互的関わりと子どもの発達 第14回：教育・保育における評価（1）評価の目的・内容・方法について 第15回：教育・保育における評価（2）保育の中で生かす評価 定期試験			
テキスト：資料を適宜配布する			
参考書・参考資料等：「保育の心理を学ぶ」 長谷部比呂美・日比暁美・山岸道子著 みなみ書房 「実践・発達心理学」 青木紀久代編 みらい 「保育に生かす教育心理学」伊藤健次編 みらい 「発達がわかれば子どもが見える」田中真介監修・乳幼児保育研究会編著 ぎょうせい			
学生に対する評価：テスト80%、提出物20%			

